

科目区分	専門教育科目	授業科目名	医学一般			科目コード	24L403	担当者	大安 貴佳子			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	医療管理秘書士／診療実務士必修、社会福祉主事任用資格		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連		大病院・クリニックで看護師として、認定こども園で保育教諭・保育園看護師として勤務経験があり、幅広い年代の方々と接してきた。この経験を元に医学一般の講義を行う。					科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	解剖の基本、様々な疾患の基礎知識、妊娠出産について理解する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	質問、疑問等に対し適宜対応する。
授業の方法	教科書と配布プリントを使用し、パワーポイントを用いて講義形式で行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	関心のある疾患について情報を収集し、プレゼンテーションを行うことでお互いに理解を深める。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	医療保険制度・介護保険制度・母子保健・学校保健について	事前：医療保険制度・介護保険制度・母子保健・学校保健について学習する 事後：制度について理解を深める	第9回	精神疾患について	事前：精神疾患について学習する 事後：自分の心を守るためにできることを考える	
第2回	体の仕組みについて(解剖生理)Ⅰ	事前：教科書1～15ページを読む 事後：解剖学について理解を深める	第10回	小児疾患について	事前：小児疾患について学習する 事後：小児疾患について理解を深める	
第3回	体の仕組みについて(解剖生理)Ⅱ 薬、検査項目について	事前：教科書15～27ページを読む 事後：解剖学、薬・検査項目理解を深める	第11回	けがや病気の対応を知る	事前：けがや病気の対応について学習する 事後：けがや病気の対応を振り返り修得する	
第4回	感染症について	事前：教科書33～37ページを読む 事後：感染症について理解を深める	第12回	女性特有疾患、妊娠について	事前：女性特有疾患、妊娠について学習する 事後：ライフプランについて考える	
第5回	生活習慣病について	事前：生活習慣病についてどのようなものがあるのか学習する 事後：生活習慣病予防について考える	第13回	胎児から幼児の成長過程について	事前：胎児から幼児の成長過程について学習する 事後：胎児から幼児の成長過程について理解を深める	
第6回	血液疾患、悪性腫瘍について	事前：血液疾患、悪性腫瘍について学習する 事後：がんの早期発見について考える	第14回	子どもに起こりやすい事故について	事前：子どもに起こりやすい事故について学習する 事後：事故予防についてできることを考える	
第7回	循環器疾患について	事前：循環器疾患について学習する 事後：循環器疾患予防について考える	第15回	ディスカッション、発表	関心を持った疾患についてまとめ、自分ができる予防行動について考える	
第8回	脳血管疾患について	事前：脳血管疾患について学習する 事後：脳血管疾患予防について考える			事前・事後学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	医学一般／一般社団法人医療教育協会／一般社団法人医療教育協会	受講生へのメッセージ	病気を知ること自分自身やご家族の健康について見つめ直してみましょう。女性の体についても理解を深め、心も体も健康でいられるように一緒に考えていきたいと思います。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)
観点	尽心	① 学習意欲	30		10		20	健康について関心を持ち、自らの生活を見直すことができる。	自己管理能力	提出物	健康について十分に関心があり、自らの生活を見直すことができる。	健康について十分に関心があり、自らの生活がある程度見直すことができる。	健康について関心があり、自らの生活を見直すことができる。	健康について関心があり、自らの生活がある程度みなおすことができる。	健康について関心がなく、自らの生活を見直すことができない。	
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	40		20	10	10	疾患について知り、予防行動を考えることができる。	専門的知識	提出物	疾患に関する知識を十分に有しており、予防行動について考えることができる。	疾患に関する知識を十分に有しており、予防行動についてある程度考えることができる。	疾患に関する知識を有しており、予防行動について考えることができる。	疾患に関する知識を有しており、予防行動についてある程度考えることができる。	疾患に関する知識が不十分で、予防行動について考えることができない。	
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力	30		10	10	10	疾患について調べ、要約し、他者に説明することができる。	プレゼンテーション力	授業内でのプレゼンテーション	疾患に関して情報収集し、十分に内容を理解して他者に説明できる。	疾患に関して情報収集し、十分に内容を理解して他者にある程度説明できる。	疾患に関して情報収集し、内容を理解して他者に説明できる。	疾患に関して情報収集し、ある程度内容を理解して、他者に説明できる。	疾患に関しての情報収集、内容理解が不十分で、他者に説明できない。	
	実践	⑨ 主体性														
		⑩ 協働性														
合計			100		40	20	40									